



「数字で見る新潟県糸魚川市のインバウンド」

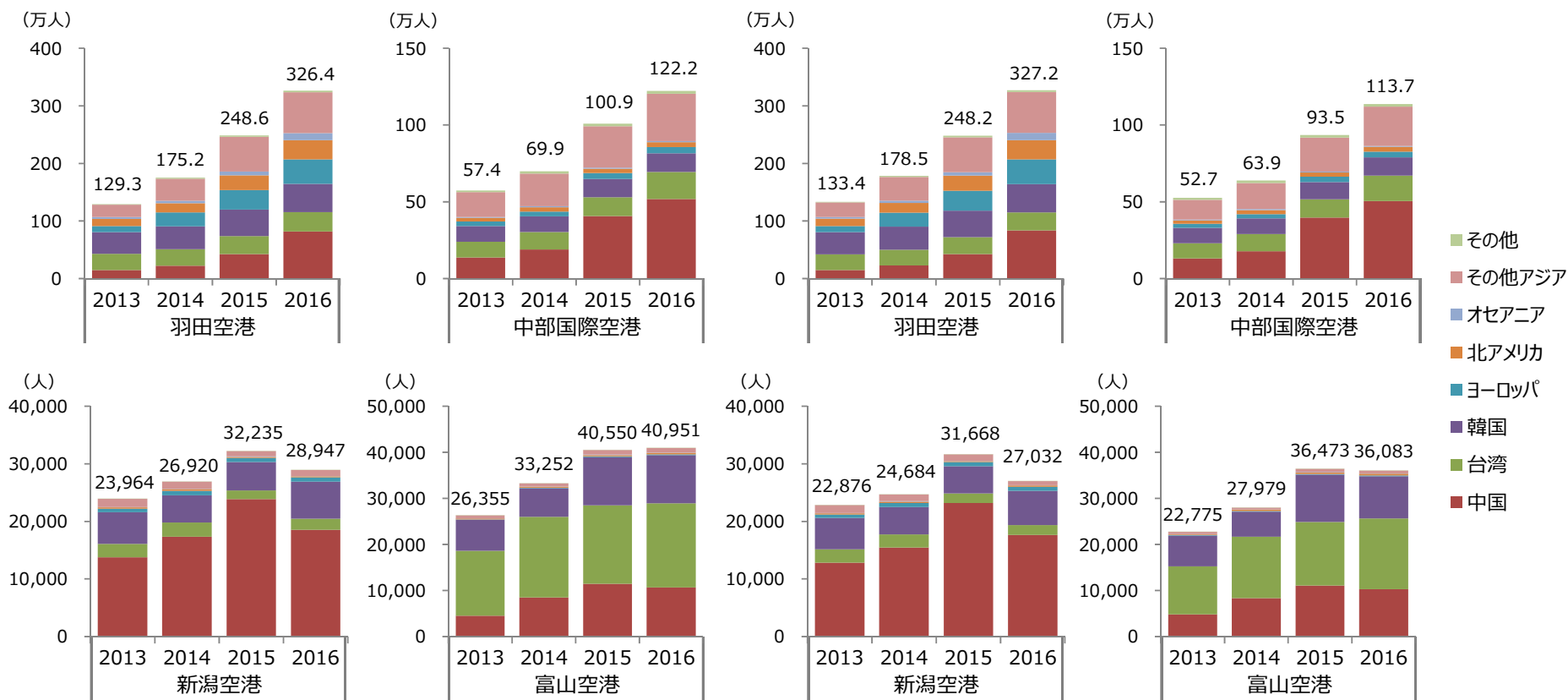


空港別／国・地域別訪日旅行者数（1）

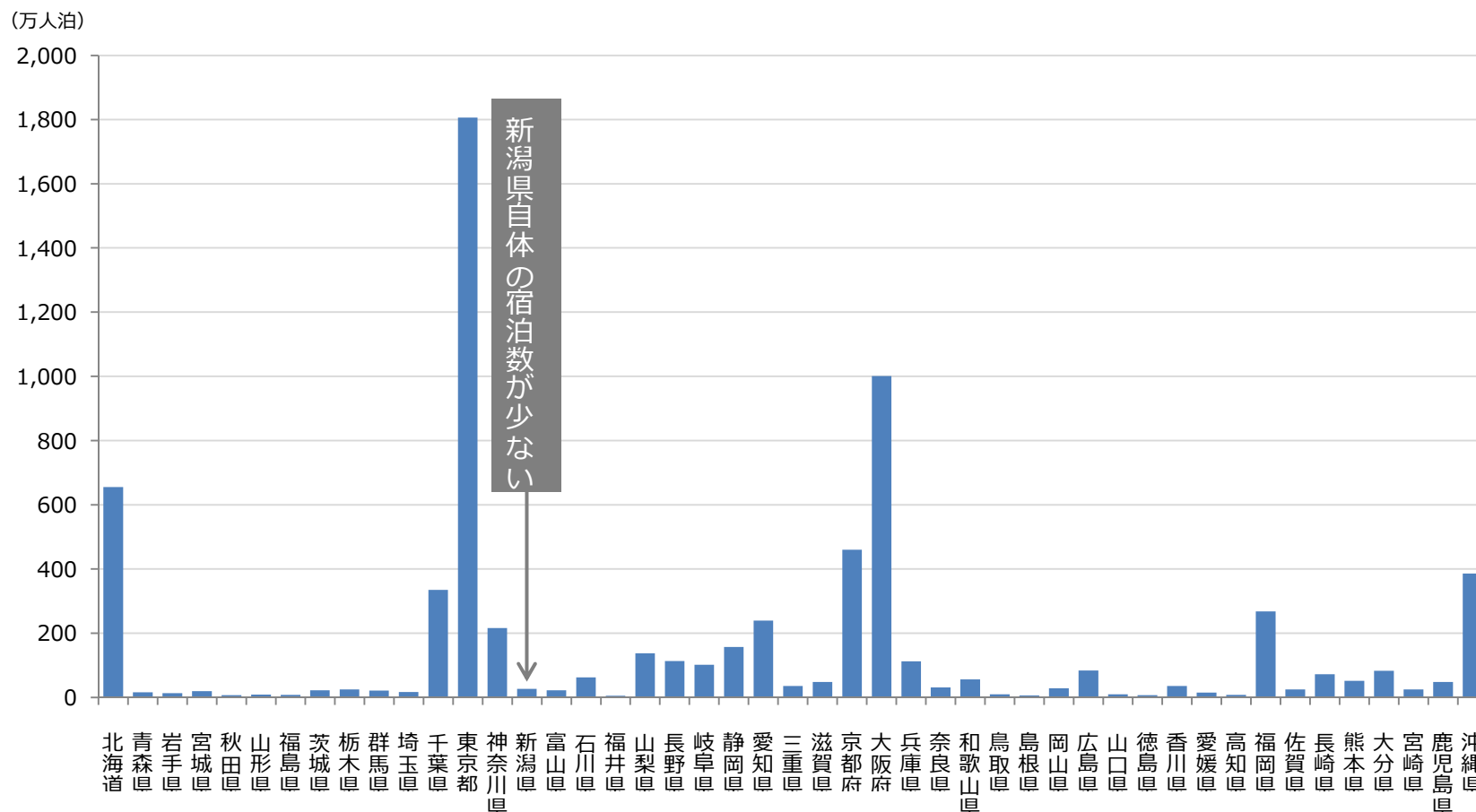
- ◆ 糸魚川市につながる玄関口としての空港は、羽田空港（関東地方から）、中部国際空港（中部地方から）に加え、近年東アジアへLCC（格安航空会社）が多く就航している地方空港として新潟空港、富山空港がある。
- ◆ 羽田空港、中部国際空港はここ4年間一貫して入国者・出国者ともに増加している。新潟・富山空港は2015年まで増加していたが、2016年は新潟空港は減少、富山空港は2015年並みにとどまった。
- ◆ 羽田空港は世界中から幅広く来ている。中部国際空港は中国、台湾、その他アジアが多い。新潟空港は中国が特に多い。富山空港は台湾、中国、韓国の3か国がほとんどを占めている。

空港別 国・地域別入国者数

空港別 国・地域別出国者数



県別外国人宿泊数

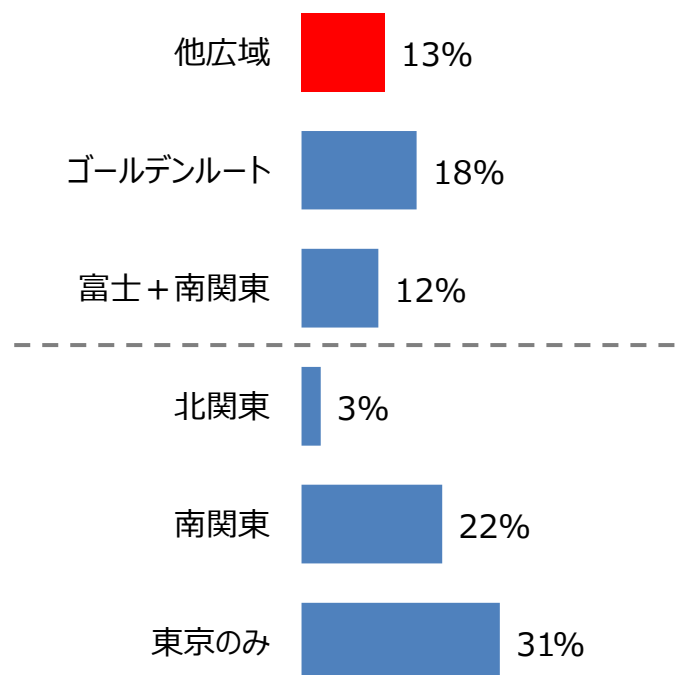


※2016年 延宿泊者数（1人が2泊した場合2人とカウント）

首都圏で入国した訪日客の訪問地

- ◆ 首都圏2空港で入出国した旅行者のうち、関東・関西以外の地方も訪問している人（他広域）は13%。

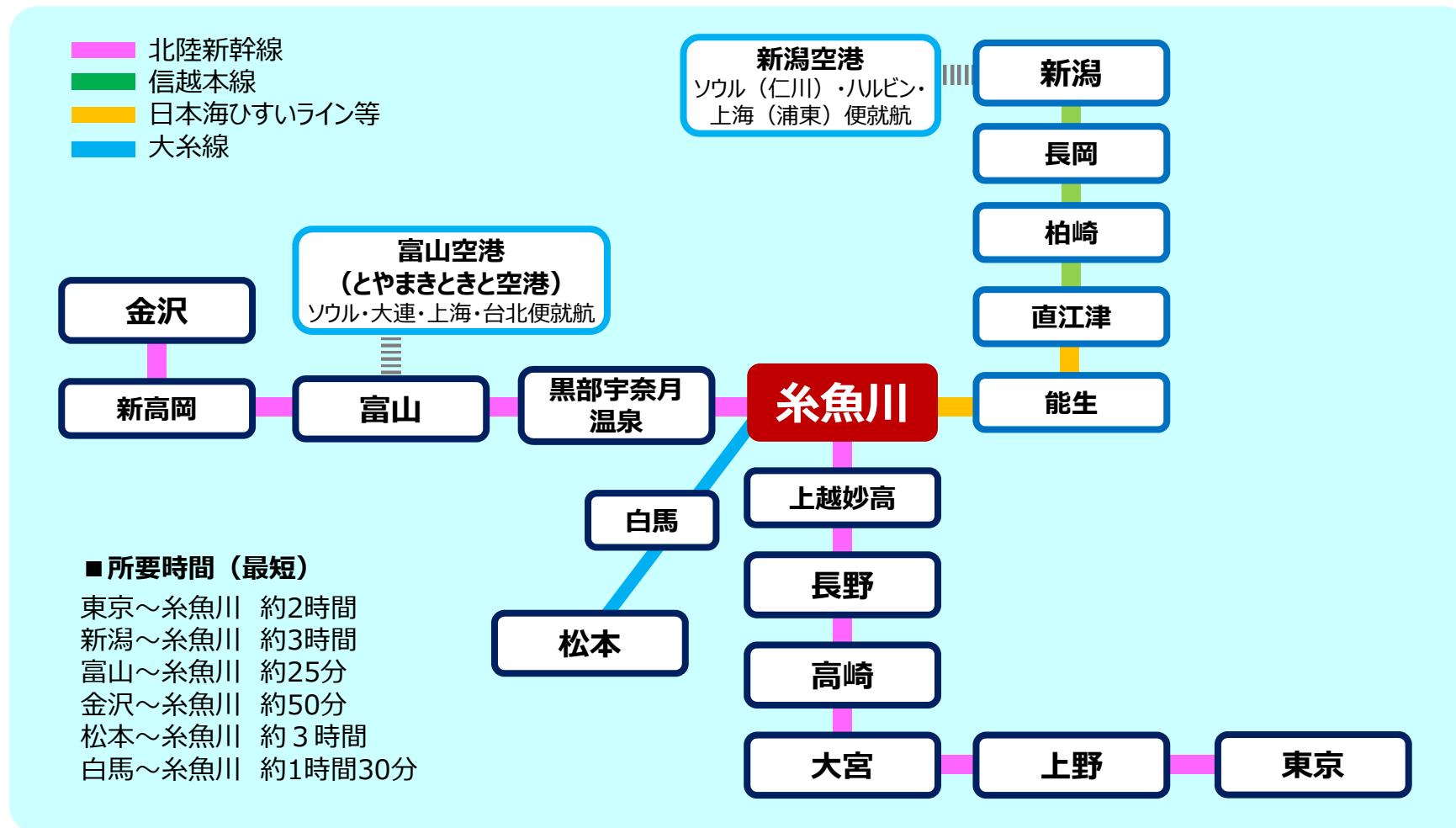
首都圏2空港で入出国した 旅行者の訪問地



※観光庁「訪日外国人消費動向調査」2014年のデータを用いて首都圏2空港で入出国した旅行者がどのような地域を周遊したか分析したもの。
ゴールデンルートとは首都圏と関西の両方を訪問するパターンを指す。

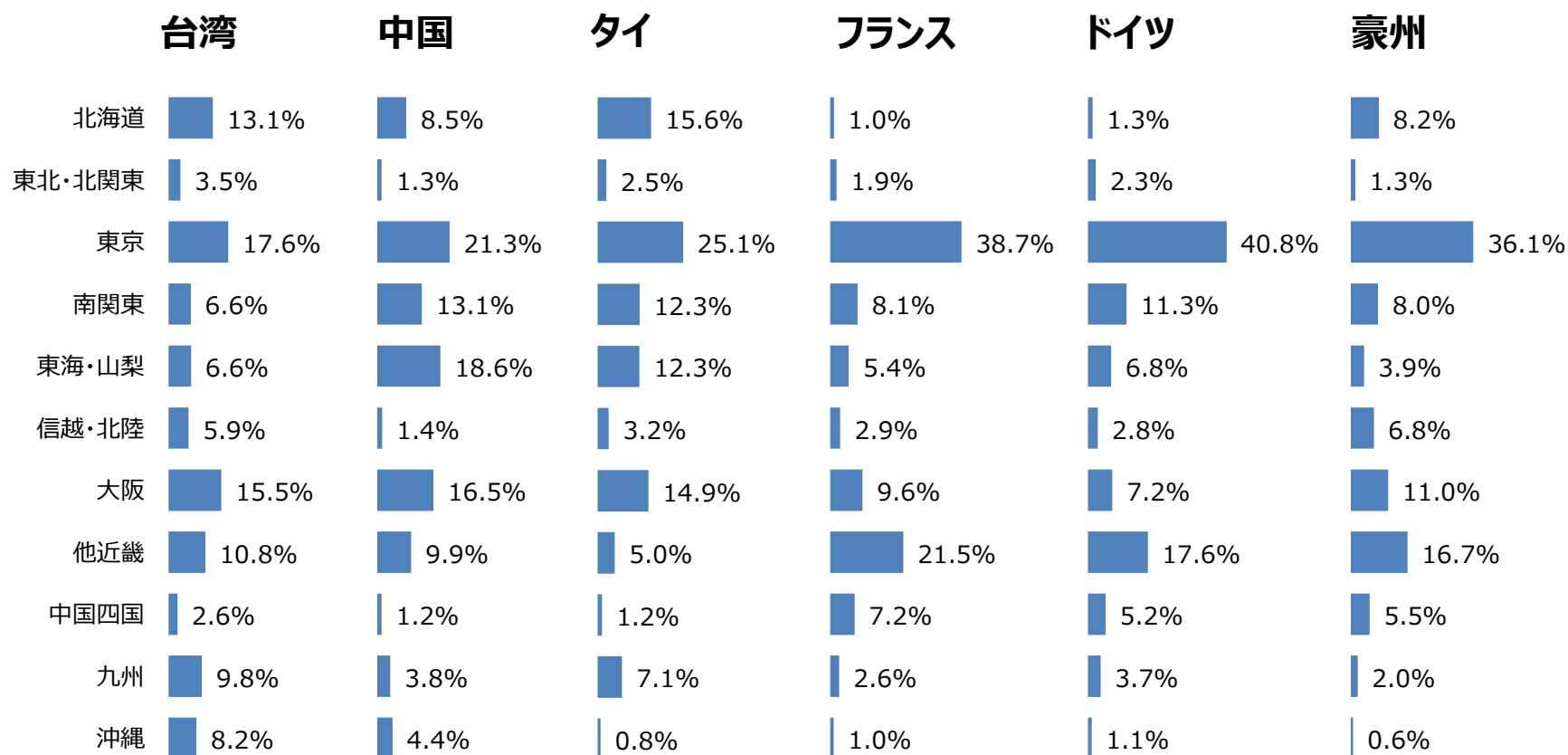
糸魚川市の誘客ルート

- ◆ 主なインバウンド客の誘客ルートとしては、東京方面、新潟方面、富山・金沢方面の3ルートが考えられる。
- ◆ 北陸新幹線の開通により、東京からだと約2時間で糸魚川まで行けることとなった。さらに、富山⇒糸魚川間は約25分のため、富山空港⇒富山駅⇒糸魚川駅が中国・韓国からの最短ルートとなる。



主な国籍別にみた外国人の宿泊地の分布

- ◆ 糸魚川市に来訪していると考えられる主な国籍の旅行者の宿泊地分布をみると、台湾は分散傾向が強く（リピーターが多いため）、逆に中国とタイは大都市とその周辺への集中度が高く、フランス、ドイツ、オーストラリアは東京に一極集中している（初来日者の比率が高いため）。

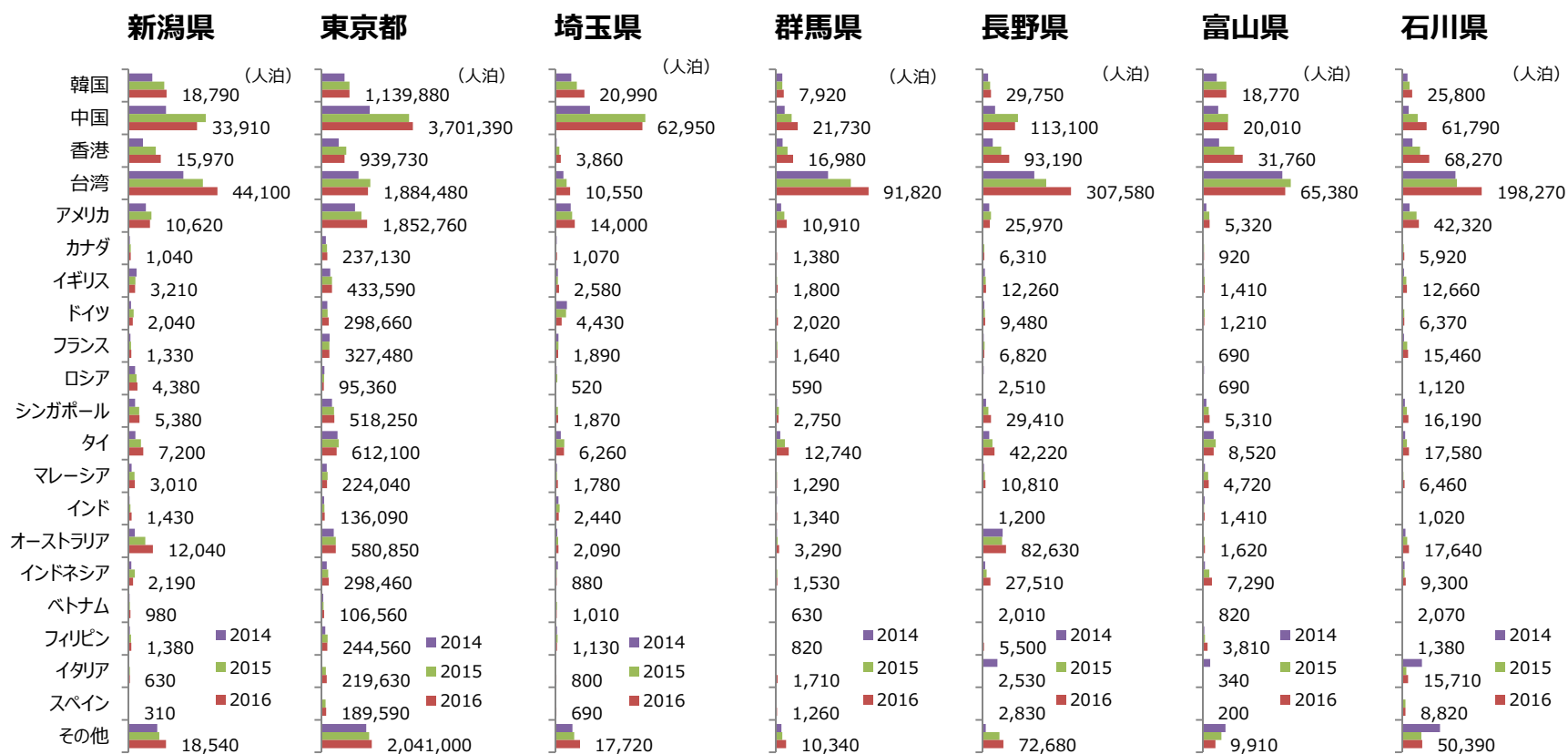


※2015年11月～2016年10月の数値

新潟県及び近隣都県のインバウンド概況（1）

- ◆ 新潟県内の宿泊施設に2016年に宿泊した外国人の国籍は、台湾が4万4千人泊で最も多く、中国が3万4千人泊、韓国が1万9千人泊、香港が1万6千人泊で続く。
- ◆ 台湾、韓国、香港は過去3年間増加しているが、中国は2016年は減少した。
- ◆ 近隣都県では、東京都と埼玉県は中国、それ以外の県はいずれも台湾が最も多い。

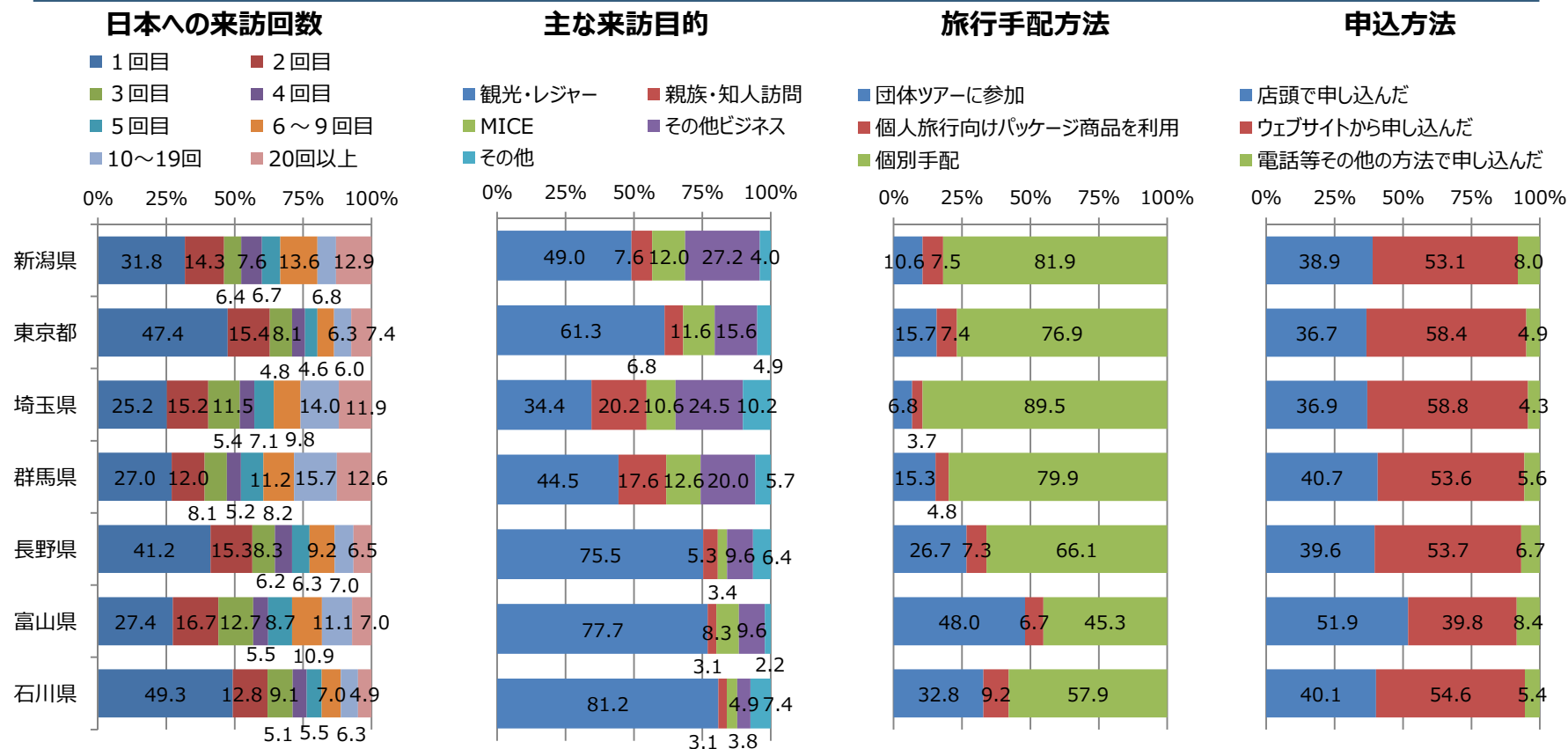
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数



※数値は2016年
※イタリア、スペインは2015年から追加

新潟県及び近隣都県のインバウンド概況（２）

- ◆ 新潟県及び近隣都県を訪問した外国人の来日回数をみると、石川県や東京都は初来日が半数近くを占めるが、埼玉県、群馬県、富山県は2回目以降のリピーターが多く、新潟県でも7割近くを占めている。
- ◆ 主な来訪目的は、全ての都県で「観光・レジャー」が最も多いが、埼玉県と群馬県ではビジネス目的や「親族・知人訪問」での来訪割合が高い。新潟県は「その他ビジネス」の割合が高くなっている。
- ◆ 訪日旅行の手配方法は、ほとんどの都県で「個別手配」が最も多く、埼玉県と新潟県では8割以上を占める。一方、富山県は「団体ツアー」が「個別手配」よりも多くなっている。
- ◆ 申込方法は、ほとんどの都県で「ウェブサイト」での申し込みが過半数を占めるが、富山県は「店頭」が多くなっている。

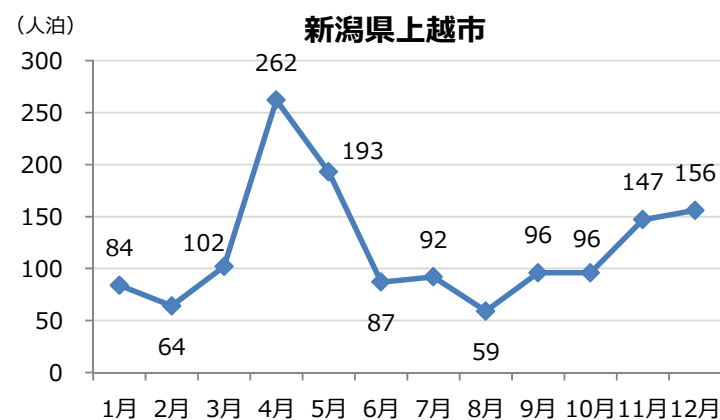
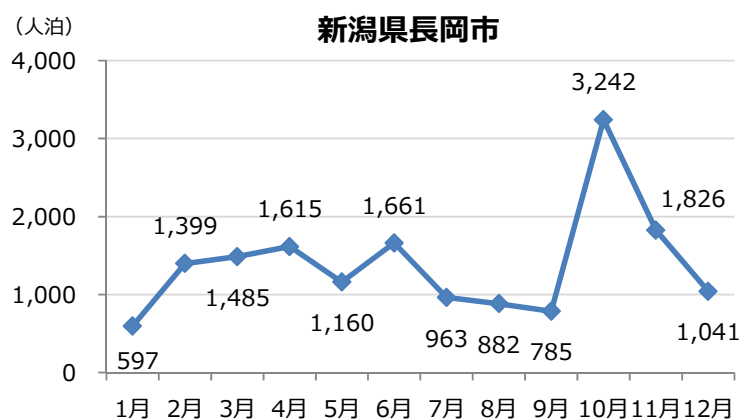
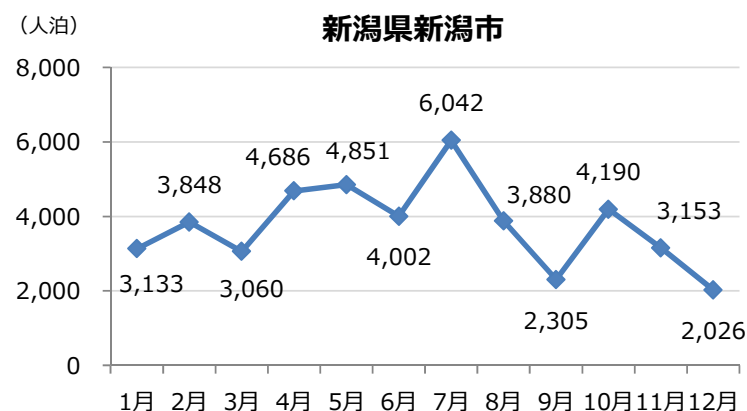
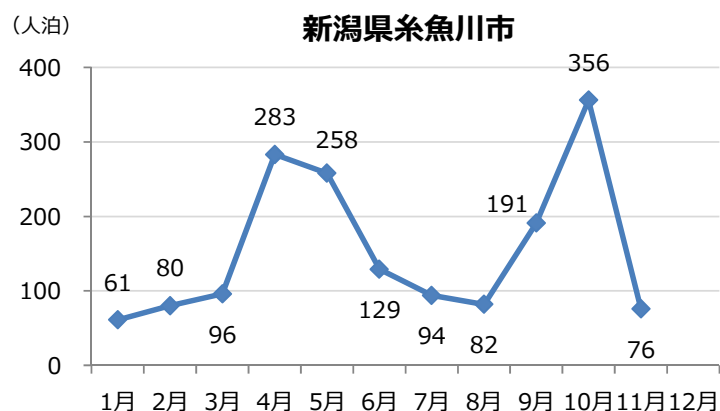


※「MICE」は「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」、「その他ビジネス」は「研修」「その他ビジネス」、「その他」は「観光・レジャー」「親族・知人訪問」及び左記以外の計

各自治体の月別インバウンド概況（1）

- ◆ 外国人宿泊客の月ごとの動向をみると、糸魚川市は10月が最も多く、4・5月が次いでいる。
- ◆ 新潟市は7月が多く、4・5月が続き、9・12月は比較的少なかった。
- ◆ 長岡市は10月が特に多く、1月、7～9月は少なかった。
- ◆ 上越市は4月が最も多く、5月が続き、一方、1・2・6～10月は100人を下回った。

施設所在地別外国人延べ宿泊者数（2016年）



※糸魚川市の12月はデータなし

各自治体の月別インバウンド概況（2）

- ◆ 妙高市は1月が多いが、4～9月は非常に少なかった。
- ◆ 富山市は4・5月が特に多く、1～3・12月は比較的少なかった。
- ◆ 金沢市は4月が特に多く、5月が次いでおり、それ以外の月は比較の変動が少なかった。

施設所在地別外国人延べ宿泊者数（2016年）

